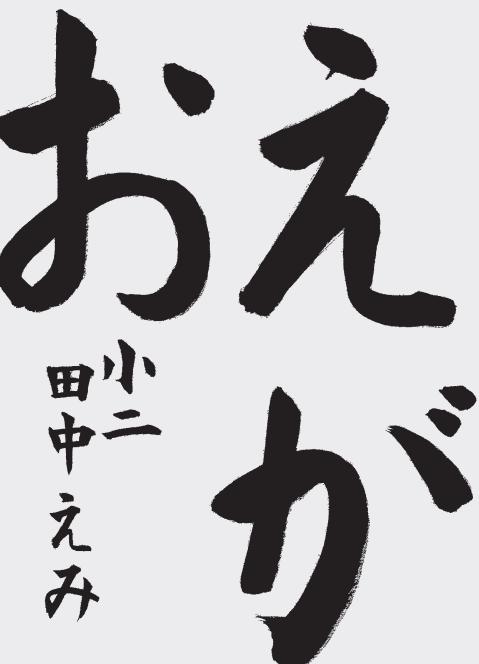


[11月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学 2 年 参考 手本



田 村 鄭 雲 先 生

幼・小学 1 年 参考 手本



大 平 邑 峰 先 生



田 中 扇 溪 先 生



小 竹 石 雲 先 生

[11月 6 日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年 参考 手本

月光

小四

花田 幸子

坂本 素雪 先生

大切

小四 小川 広

山口 仙草 先生

小学 3 年 参考 手本

見る

小三

川上 光

崎井 恵風 先生

ぶ竹  
や

小三  
山下 恵子

東福 青篁 先生

[11月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年 参考 手本

里筆の  
小六  
古田和子

小浜 大明 先生

小学 5 年 参考 手本

小五  
風景  
小川道子

工藤 永翠 先生

小六  
書詩を  
広山明子

廣瀬 舟雲 先生

音波  
小五  
奈良民子

名越 蒼竹 先生

[11月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

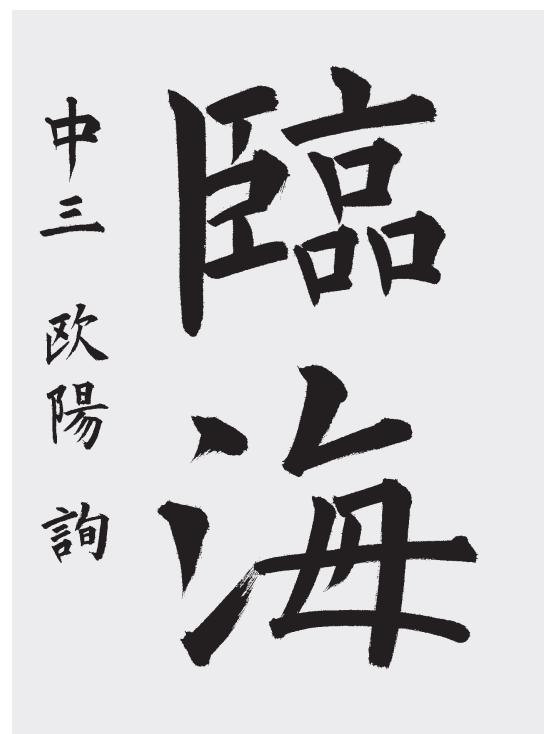
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



下谷洋子先生



辻元大雲先生



種谷萬城先生



九成宮醴泉銘  
(中国唐時代)  
歐陽詢

発展〔中学生〕

- 有名な古典の名跡に挑戦してみよう

古典の名跡には現在の楷書とは異なった字形の文字があります。これを異体字といいます。  
「臨」の8画目が点に。「海」の2画目の点に「はね」があり、4・5画目が連続し、7画目の「はね」があります。

# 毛筆参考手本解説(1)

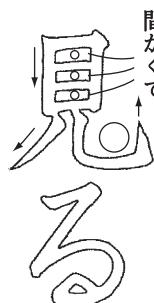
1年



は(ゴ)は(明)は(教)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。  
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

3年



見る(ゴ)見る(明)見る(教)

4年



5年



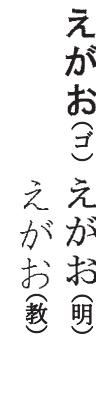
は(ゴ)は(明)は(教)

すみ(ゴ)すみ(明)すみ(教)

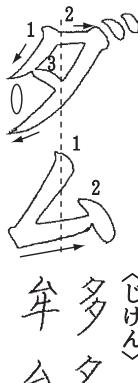
2年



衣 (gein)  
加 (ka)  
斧 (kappa)



斧 (kappa)  
加 (ka)  
衣 (gein)



多 (ta)  
牛 (ushi)  
ム (mu)

ダム(ゴ)ダム(明)ダム(教)



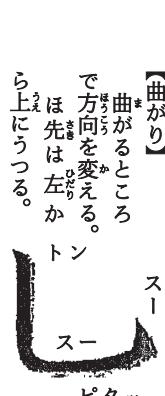
見る(ゴ)見る(明)見る(教)



大切 (takataga)

一ナ大  
一セ切切

大切(ゴ)大切(明)大切(教)

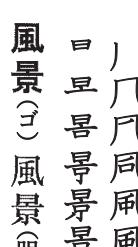


乃乃のの  
方向に気をつける



皮 (bi)

止め  
方向  
はなす



「日」「口」はへん平にする  
下に浅く接する  
曲がるところ  
で方向をかえる。トン  
ら上にうつる。



「日」はなす  
方向  
止め

「日」  
「口」  
ス  
方向

# 毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

筆の横画は  
等間隔に  
〈字源〉  
乃乃の

形の変化

内側に向ける  
中心

里 筆

はなす  
〈許容〉

整 理

然 路

点画の省略

※「れっか」

※「あしへん」



九成宮醴泉銘  
発展

臨 海

「国語科書写の理論と実践」  
全国大学書写書道教育学会編より転載

筆順  
1 竹 竹 竹 竹 筆  
2 竹 竹 竹 竹 筆  
3 竹 竹 竹 竹 筆  
4 一 二 曰 甲 甲 里  
筆の里(ゴ) 筆の里(明)  
筆の里(教)

横画は等間隔に  
横順

筆の里(ゴ) 筆の里(明)

詩を書く(ゴ) 詩を書く(明)  
詩を書く(教)

払いからの横画

あらし

つなげる気持ちで

理路整然(H)  
クタタ外然然

甲 乙 丙 丁 路 路  
申 東 敦 整 整 整

方向  
1 口  
2 三  
3 ロ  
4 はなす  
〈許容〉

遠きを  
久々く

詩を書く(ゴ) 詩を書く(明)  
詩を書く(教)

起筆 穗先を入れる。  
鋭く筆を入れる。



收筆、つき返すよう  
に止める。



行書的な三画め。

厳密で切れ味鋭い筆使い。

ひらがなの字源 (384)

	く	し	ら	あ	字源	字形
	久	之	良	安	安	安
	く	え	ら	あ	あ	あ

\* 字源については、異字体から変遷したものに\*印を付して()にその字体を記した。  
\* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

# 硬筆参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

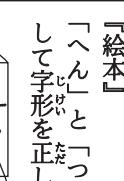
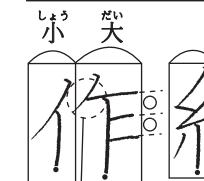
[11月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

支部名	本	お	話	を	よ	ん	で	、	絵
段・級	を	話	を	よ	ん	で	、	絵	
学年	作	り	ま	し	よ	ん	で	、	。
名前	玉木	小	花						
玉木 小花	玉木	小	花						

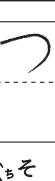
支部名	は	し	つ	て	い	ま	す。	車	が
だん・きゅう	は	し	つ	て	い	ま	す。	車	が
がくねん	は	し	つ	て	い	ま	す。	車	が
一	は	し	つ	て	い	ま	す。	車	が
なまえ	は	し	つ	て	い	ま	す。	車	が
うれしやうた	は	し	つ	て	い	ま	す。	車	が



小 大

絵

話



つ

(明)

つ

(教)

せっするいち  
にちゅううい  
作

ひつじゅん

下が出る  
よこがでる  
たがで

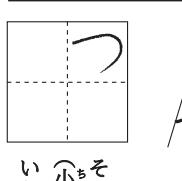
へん  
と「つくり」  
の組み立てにちゅうい  
して字形を正しく書きましよう。

せっするいち  
にちゅううい  
作

ひつじゅん

絵

絵



車

(ゴ)

車

(明)

車

(教)

ながく

ひつじゅん

いちにちゅうい

そくおん  
(小字)  
かく字

せっするいち  
にちゅううい  
作

ひつじゅん

下が出る  
よこがでる  
たがで

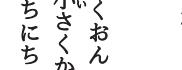
へん  
と「つくり」  
の組み立てにちゅうい  
して字形を正しく書きましよう。

せっするいち  
にちゅううい  
作

ひつじゅん

絵

絵



車

(ゴ)

車

(明)

車

(教)

ながく

ひつじゅん

いちにちゅうい

そくおん  
(小字)  
かく字

せっするいち  
にちゅううい  
作

ひつじゅん

下が出る  
よこがでる  
たがで

へん  
と「つくり」  
の組み立てにちゅうい  
して字形を正しく書きましよう。

せっするいち  
にちゅううい  
作

ひつじゅん

絵

絵

[11月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

支部名	発表をしました。	絵	ながら、
段・級			・
学年		写真などを見せ	パ
四			ン
名前	高野 希子		ダ
			の
			研究

支部名	流れています。	白い雲が青い空	を
段・級			流
学年	三	道下広大	れ
名前			て
			い
			き
			ま
			す
			。

中心

『研究発表』  
「はね」や「はらい」の方向に気をつけて  
漢字を書きましょう。

表	究	写	流	青	雲		
まがり(筆順) 「はらい」の方向 と長さに注意 短くならない ようにならぬ 表表表	まがり(筆順) 「はらい」の方向 と長さに注意 短くならない ようにならぬ 表表表	一画順 一画で書く 表(筆順) 表(表明) 表(教)	一画順 一画で書く 究(筆順) 究(究明) 究(教)	一画順 一画で書く 写(筆順) 写(明) 写(教)	一画順 一画で書く 流(筆順) 流(流明) 流(教)	一画順 一画で書く 青(筆順) 青(青明) 青(青教)	一画順 一画で書く 雲(筆順) 雲(明) 雲(教)

横書きを正しく書きましょう。

[11月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

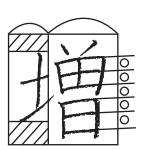
小学 5 年

支部名	と 改 造 を 加 え た 。	よ う に 学 級 文 庫 に 工 夫	利 用 す る 人 が 増 え る
段・級			
学年	六		
名前	鳥谷 勇		

支部名	に つ い て 調 べ ま し た 。	図 書 館 で 世 界 四 大 文 明	グ ル ー プ に 分 か れ 、
段・級			
学年	五		
名前	村田 建太		

中心  


右払いをしつかり書きましょう。  
『改造』  
まがり

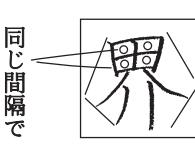
  
『増』  
田をへん平に  
土(つちへん)小さく  
横分間をそろえて

『増(?) 増(明) 増(教)』

丸みをもたせながら方向を変える  
『改(?) 改(明) 改(教)』

コニビゴニ改改

筆順  
造(?) 造(明) 造(教)  
告浩造

同じ間隔で  


たてが出る  
『筆順』  
世(?) 世(明) 世(教)

たてが出る  
『筆順』  
図(?) 図(明) 図(教)

接し方に注意  
『筆順』  
一十サセ世  
界(?) 界(明) 界(教)

接し方に注意  
『筆順』  
世(?) 世(明) 世(教)

組み立て方に注意して、字形を整えましょう。  
『世界』

[11月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

中 学 生 (楷 書)

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	
天野 絵里	日本古来の楽器に尺八がある。 竹林の中を過ぎて、いく風の音を表現できたら名人といえよう。

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	
天野 絵里	竹林の中を過ぎて、いく風の音を表現できたら名人といえよう。

(楷) 風   
方向の変化

(楷) 中 表  
中 ↓ (行) 表

・行書のワンポイントアドバイス  
楷書に比べて、のびやかに流れを意識した筆使いで書く。

中心 過   
そる  
虫は「から下に出ないよう」に。  
筆順：ノ ロ ロ 冂 倗 潟 潟 潟  
① ② ③ のリズムで

竹林の中を過ぎて、いく風  
「かな」は漢字よりも少し小さめに書きましょう。

# これからのお作品締切日と課題

令和5年12月号～6年3月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5

で	イ	も
活	ブ	う
気	。	す
に	商	ぐ
満	店	クリ
ち	街	ス
て	は	マ
い	セ	ル
る	。	ス

幼・小 1

わ	手	手
を	を	つ
く	つ	な
ろ	な	い
う	い	。

12月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

小 6

よ	れ	、
う	、	海
に	あ	は
暗	た	深
く	り	い
な	は	き
っ	夕	り
た	暮	に
。	れ	包
の	ま	

小 2

を	か	ん
イ	ん	字
ラ	の	の
ス	な	り
ト	り	立
で	立	ち
学		
ぶ		。

小 3

家	森	の
ま	の	小
で	小	道
走	道	を
り	を	通
ま	通	つ
し	つ	て
た		
。		

中学生

持	続	可	能	な
る	可能	な	未	来
可	能	な	た	め
能	な	め	に	S
持	持	持	持	D
心	持	持	持	G
持	持	持	持	s

小 4

新	を	今
聞	記	ま
「	事	ま
を	に	で
に	作	体
作	書	驗
り	き	し
ま	、	た
し	た	こ
た	自	こ
。	分	と

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・小 1	締切日
晴耕雨読	曲水(蘭亭序・臨書)	海岸線	星ふる夜	千歩	広がり	つばさ	き 12月4日
広める見聞を	楽しい声	絵画	冬ごもり	夕やけ	かもめ	ふゆ	12月 12月
心機一転	恵風(蘭亭序・臨書)	固い決意	百人一首	生きる力	たつ年	おせち	1月8日 1月
炭を継ぐ	観察力	理 想	新春	はつゆめ	ぞうに	もち	2月7日 2月
暗中模索	先聖(孔子廟・臨書)	文 庫	自由	よろこび	ゆびわ	む	2月 2月
梅林美しい	世界旅行	道 路	点 画	図 工	ポスト	やま	3月10日 3月
千変万化	風雲(孔子廟・臨書)	希望の春	約 束	発 表	花だん	きずな	せ 3月
つかむかな	平和運動	周 囲	周 围	美しい花	ビデオ	てん	



# 書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

今度は、大きく立派なケヤキの板に楷書で右から左に向かって堂々と揮毫された東京の老舗の看板です。書を刻した所には緑色の顔料（絵の具）、雅印の印影を刻した所には赤色の顔料が入れられています。東京が江戸と呼ばれた頃から代々続く老舗筆墨硯紙店として有名な九段下・神保町の玉川堂の看板を紹介します。書は、丹羽海鶴（文久三（1863）～昭和六（1931）・68歳）が揮毫したものです。本名は正長、字は寿郷、号下部鳴鶴に師事しました。明治から昭和初期にかけて活躍した書家で、最初は師の影響を受けて六朝風の楷書を書きましたが、のちに中国・初唐時代の楷書、なかでも褚遂良の「孟法師碑」を基とした書を得意としました。この看板の「玉」字の右下部の横画の長さと点の位置が現在の字形と異なっていますが、王献之の書をはじめ、六朝時代の書には時々見られる字形で、これを異体字といいます。この書風は、孟法師碑を基としつつも六朝の強い線の影響が感じられます。海鶴は、学習院や東京高等師範学校の講師、文部省教員検定試験委員などを歴任し、教育の世界へも大きな影響力を及ぼした人でした。この看板の落款に「昭和戊辰冬日」とあることから昭和三年の冬、海鶴晩年の気力が充実していた頃（65歳）の書ということになります。

現在の書道展の刻字作品に用いられる木材は、木の肌が緻密で刻すのに比較的柔らかい「桂材」を用いることが多いですが、昔の看板は、製材する木目がしっかりと浮き出て、固く丈夫な「ケヤキ材」を用いることが多かったようです。玉川堂の看板は長方形の板に製材されていますが、ケヤキ材の

場合、木材の両脇を幹の樹形のままにして用いる場合がありました。

原始人が絵を描くとき、茶色は泥を、黒色は燃え残った木の炭を用いました。自然の中には色のきれいな石や貝の殻（白色を作る材料となる）などがあります。昔の人たちは、これらを細かく碎いて粉にして、油や膠の液などに混せて用いました。現在でも自然の石や鉱物などを碎いて作られた顔料が画材店で売っています。しかし、色によって価格の差があります。これらは希少な石が原料だからです。現在では、ほとんどの絵の具は、合成染料を油で捏ねて作られています。しかし比べてみると昔の顔料の方が色が鮮やかで変色しにくいことがわかります。壁画や日本画・老舗の看板のなかで生かされていますのでこの点も見所です。



## 第80回 身の回りの書6・老舗の看板2

# 今月のホープ



自然に筆を動かしているが、一点一画確かな筆使いで名前まで美しく書き上げました。日頃の学書の賜物でしょう。

支部名	環境問題について友達と意見交換し、「私たちは何をすべきか」を考えた。
段・級	
学年	
中三	
氏名	奈良部 悠斗 (千葉)

一字一字の線質もよく、行書の次につながる字形を大切にしバランス良く書き上げました。中学生のお手本となるような硬筆作品です。



丁寧で着実な筆使い。紙面の使い方が良く、字形や左右のはらい、名前も落ち着いた書きぶりで大変見事です。

中三 奈良部 悠斗 (千葉)

支部名	雲の上をさんぽ
段・級	
学年	
二	
名前	山下はな世

てんかく点画がしっかりしていて、マスいっぽいにのびやかな線で大きく堂々とした、さわやかな作品になりました。

小四 芦澤拓巳 (千城)

小二 山下華世 (光峰)

## 第57回高野山競書大会（会場風景・表彰式風景）

展示：総本山金剛峯寺 別殿  
表彰式：高野山大師教会本部大講堂



表彰式  
風景①



表彰式 風景②



表彰式 風景③



表彰式  
出席者記念写真

12月号毛筆参考手本（予告）12月4日締め切り分

幼・1年

き  
小一 山川かほ

2年

き  
小一 山川かほ

3年

り広が  
小三 川口ゆい

4年

けタや  
小三 山田和子

5年

星ふ  
小五 美空光

6年

絵画  
小五 自次時成

中学

曲水  
中三 山川貴子

雨晴耕  
中一 山下知

見聞を  
広める  
小田清子

見聞を  
広める  
小田清子

○第57回高野山競書大会が8月1日～8月15日まで和歌山県の高野山・總本山金剛峯寺で、8月25日～8月27日まで東京都港区の高野山東京別院で行われました。今月号では8月4日に高野山・總本山金剛峯寺で行われた表彰式の風景の写真を紹介します。

○今月も中学生の課題は、唐・欧阳詢(571～641)の書「九成宮醴泉銘」です。「九成宮醴泉銘」は、唐の太宗が、避暑地の離宮の九成宮から、甘い湧き水が出ることを喜んで、当時の学者魏徵に文を作らせ、欧阳詢に字を書かせた石碑の書です。

571～641)の書「九成宮醴泉銘」です。「九成宮醴泉銘」は、唐の太宗が、避暑地の離宮の九成宮から、甘い湧き水が出ることを喜んで、当時の学者魏徵に文を作らせ、欧阳詢に字を書かせた石碑の書です。

現在は、コピー機やカメラで物の形や模様を写すことができますが、昔は拓本を使って記録していました。臨書をする際、手本となる古典に拓本を使うことが多く、特に古代中国に書かれた書の大半は石碑であるため、手本も必然的に拓本となります。拓本をよく観察し、特徴を捉えて臨書してみてください。

海」は拓本です。

現在は、コピー機やカメラで物の形や模様を写すことができますが、昔は拓本を使つて記録していました。臨書をする際、手本となる古典に拓本を使うことが多く、特に古代中国に書かれた書の大半は石碑であるため、手本も必然的に拓本となります。拓本をよく観察し、特徴を捉えて臨書してみてください。